

## ユネスコスクール加盟校 活動報告書

平成30年5月1日時点

## 1. 学校概要

学校名 北海道更別村立更別小学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫教育<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  その他（ ）  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒089-1532  
北海道河西郡更別村字更別南1線101番地

E-mail sarasho@sarabetsu.ed.jp

Website \_\_\_\_\_

幼児児童生徒数 男子 84 名 女子 73 名 合計 157 名  
 幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 活動期間（チャレンジ期間）

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真）

※チェック事項1-1に対応

当校は、「ふるさと教育の推進と共生の精神に満ちたまちづくり」を活動テーマとして、ESDを課題解決に向けた一つの方策と捉え、ESDの実践を通して多様性を認め合う学校の実現を目標とした。

具体的には、エネルギー、伝統文化、健康・福祉、食育を柱に、①地球にやさしい新エネルギーに係わる活動、②日本の伝統文化に係わる教育、③共生社会の実現に向けた社会福祉に係わる学習、④ふるさとの良さを実感する食育に係わる学習を行った。

## ① 地球にやさしい新エネルギーに係わる活動

第3学年では、石油や石炭から作られるエネルギーの消費により「地球温暖化」が進むことを学び、地球を救うクリーンなエネルギーとして、「太陽光発電」「風力発電」「地熱発電」「バイオマス発電」等の「新エネルギー」の存在を知った。本校にも太陽光パネルがあり、発電されるエネルギー量や使用方法などを調べるとともにグループごとに新エネルギーについて課題を設定し、調べ学習を進めた。それぞれのエネルギーのもつ良さや課題を調べ、エネルギー新聞としてまとめ、学年参観日の折に保護者に発表した。地球温暖化を防ぐために自分たちでできることについて学ぶことができた。

## ② 日本の伝統文化に係わる体験学習

第5学年では、更別村の茶道サークルの皆さんのご協力を得て、お菓子のとり方やお茶の飲み方などを体験した。茶席での掛け軸や花入れ、香合や抹茶碗などに季節を感じさせることやお隣りへの気遣いなど、それぞれの動作に意味があることや日本人が伝統的に受け継いできた人への思いやりの心やおもてなしの心を知ることができた。日本の伝統文化「茶道」を学ぶことを通して、日本人が大切にしてきた「おもてなしの心」にふれるとともに世界の伝統的な文化や風習への理解へと発展させていきたいと考えている。

## ③ 共生社会の実現に向けた社会福祉に係わる体験学習

全校の活動として村内在住の80歳以上のお年寄りの方々にお手紙を書き異世代交流を行っている。また、第4学年では、村内の老人会「末広学級」や障害者福祉協会の方々との交流会も行っている。身体に障害を持つ方との交流では、ユニバーサルスポーツである「ボッチャ」や「ディスコン」を一緒に体験することによって共生することの意味を知るとともに「誰もが住みやすい村づくり」について考えていこうという意欲が育ってきている。

## ④ ふるさとの良さを実感する食育に係わる体験学習

1年生から6年生までの全ての学年において栽培学習に取り組み、地域で育てられている作物を知るとともに「ふるさと更別」の豊かさを体験している。また、第2学年では更別農業高校と、第5学年は、JA青年部との交流学习を行っている。特に5学年は、地域の特産品である「大豆」を青年部と協力して栽培するとともに収穫した豆を使って豆腐作りや黄な粉作りに挑戦するなど、ふるさとの魅力再発見に取り組んでいる。



① 新エネルギー発表会



② 伝統文化「茶道教室」



③ 共生社会を考える



④ JA青年部との豆腐作り

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. 地球市民教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. その他(自由記入 )			

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 持続可能な開発に関する価値観(人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境の尊重等)	
<input checked="" type="checkbox"/> 2. 体系的な思考力(問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方)	
<input type="checkbox"/> 3. 代替案の思考力(批判力)	<input type="checkbox"/> 4. データや情報の分析能力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 6. リーダーシップの向上
<input type="checkbox"/> 7. その他(自由記入 つながりを尊重する態度 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)	<input type="checkbox"/> 2. 時間外活動の時間を使用
<input type="checkbox"/> 3. ユネスコクラブの活動として実施	<input type="checkbox"/> 4. その他(自由記入)

エ. SDGs(国連持続可能な開発目標)の目標のうち意識した分野(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/> 2. 飢餓をゼロに	<input checked="" type="checkbox"/> 3. すべての人に健康と福祉を
<input type="checkbox"/> 4. 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/> 5. ジェンダー平等を実現しよう	<input type="checkbox"/> 6. 安全な水とトイレを世界中に
<input checked="" type="checkbox"/> 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/> 8. 働きがいも経済成長も	<input type="checkbox"/> 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
<input type="checkbox"/> 10. 人や国の不平等をなくそう	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 住み続けられるまちづくりを	<input type="checkbox"/> 12. つくる責任、つかう責任
<input type="checkbox"/> 13. 気候変動に具体的な対策を	<input type="checkbox"/> 14. 海の豊かさを守ろう	<input type="checkbox"/> 15. 陸の豊かさを守ろう
<input type="checkbox"/> 16. 平和と公正をすべての人に	<input type="checkbox"/> 17. パートナリシップで目標を達成しよう	

オ. ESDに関するグローバルアクションプログラム(GAP)優先行動分野のうち意識した分野(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 政策的支援	<input type="checkbox"/> 2. 機関包括型アプローチ	<input type="checkbox"/> 3. 教育者の育成
<input type="checkbox"/> 4. ユース	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 地域コミュニティ	

カ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど）

ユネスコスクール地域交流会発表事例集  
ひろがりつながる ESD 実践事例 101

- ② 当該活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

地域の特質を考慮するとともに地域の願いを積極的に受け止め、総合的な学習の時間を核とした指導計画を立てている。実施に当たっては、児童が自ら課題を発見しその解決に向けた課題解決型の学習過程を重視するとともに体験的な学びを通し、次の学びへのステップへとつなげるよう工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校経営方針の中にユネスコスクールとしての取り組みを明記するとともに、学校職員への周知ばかりでなく、PTA 総会や学校地域運営者会議等においても学校としてのユネスコスクールの取り組みを伝えている。また、様々な活動の内容や目標などについても情報を広く発信し、保護者をはじめ地域住民の理解を得るよう努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクールとしての活動に位置づけた内容については、活動ごとに評価し、継続するに値した活動だったかを検証するとともに、次年度も継続するのであれば、その改善点は何なのかを明確にし、全職員で共通理解を図っている。  
ユネスコスクールの活動については、人事の異動による入れ替わりがあっても継続できるよう新年度の始まりに共通理解を持つ機会が必要であること。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

保護者・地域住民への情報発信にとどまっており、ESD の推進拠点としての発信がなされていないことが課題となっている。また、他の推進拠点校の活動についても情報の収集がなされていなかったことが反省点である。今後については、他の推進拠点校の情報の積極的な収集に努めるとともに、より積極的な活動に取り組んでいきたい。

- ⑥ 他機関との協働・交流、ネットワークやコンソーシアムの活用  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の各種団体（地域老人会・社会福祉協議会・十勝地区身体障害者福祉協議会・JA 青年部・茶道サークル・PTA・教育委員会・地域文化協会・スポーツ振興協議会・コムニの里（福祉施設））との連携を通してネットワークづくりに努めている。

- ⑦ 国内外の学校とのネットワークの構築に向けた取組 (200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

学校ネットワークの一員として、国内外のユネスコスクールとの交流をすることができなかった。今後は、ネットワークを積極的に活用し、情報の収集及びその活用にあたっていきたい。

- ⑧ ASPUnivNet 担当大学からどのような支援（学校への活動の改善・深化に向けた指導助言など）を受けて、それをどのように活動に反映したか。  
(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールとしての活動に位置付けた取組により、どんな人も一人の人間として尊重されなければならないという意識が高まっている。そのことが児童会が中心となって取り組んでいる「いじめをなくそう宣言」をはじめ、共生の心を育む教育活動へと発展している。

(3) ユネスコスクール加盟後の計画 (200字程度)

国内外のユネスコスクールと交流を図り、人権尊重の精神と世界的な視野で課題を見出しその解決に取り組んでいこうとする児童の育成に努めていきたい。

(4) ASPUnivNet 担当大学からの推薦コメント【大学記入欄】